

日曜日礼拝順序

2018年12月30日 午前11時 南部チャペル

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讚美	賛美歌114	“天なる神には みさかえあれ”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マタイによる福音書2章19-23節	
讚美	賛美歌103	“牧人ひつじを 守れるその宵”
説教	“ナザレ人と呼ばれたイエス”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌158	“あめには御使 喜びうたえ”
献金 報告 頌栄 祝祷 後奏	541	下竹祐三郎兄 Scroggins 由紀牧師 鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“喜びという力”

“あなた方は、主にあっていつも喜びなさい。繰り返していうが、喜びなさい。”(コリント人への第二の手紙9章15節)

今年も終わりに近づき、ベートーベンの第9として知られ、讚美歌158番としても歌い継がれている曲が、教会でも歌われる季節になりました。この歌は英語では“Joyful, Joyful, We Adore Thee”として有名で、降誕日が過ぎてからのアメリカは年末にかけて職場や友人たちのお祝い気分です。この季節のためか、先日、テレビをつけましたら、ある伝道師が、喜びについて語っておられました、“私は以前は、どちらかというネガティブな人間だったけれども、ある時気が付いたのは、サタンは私たちから喜びを奪おうとしていることだった。それは喜びはエネルギーであるからだ”、と彼女は言っていました、そのとおり聖書はパウロはピリピ書の中で、主にあっていつも喜びなさい、と強調していっています。

信徒にとって喜びの理由とは、主イエスキリストのよみがえりとご来臨への希望です。そして、自分自身で喜ぶのではなく、ご聖霊のお力により、その喜びを与えられています。世の中はホリデーシーズンのお祝い気分と喜びを同じものとしているかもしれませんが、ご聖霊による喜びは一年中あり、季節に関係のないものです。

罪に満ちたこの世にあり、私たちが常に前進できるのは、ご聖霊のお力です。心の平安と喜びを何者によっても取られないようにしましょう。私たちにその力が与えられていることを心から感謝したいと思います。どうぞ皆さん、よい年をお迎えください。

(Scroggins 由紀)

ポインセチア記念寄贈

下竹博、寛子姉 (記念：不破満男兄)

下竹祐三郎、由美子姉

記事：消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

—門間節子姉からクリスマスカードと献金が届きました。門間姉に感謝いたします。

お知らせ

—1月6日の日曜日より、セキュリティ強化のため、午前11時15分に Berwyn 側のドアと駐車場に面したドアはロックされます。それ以後に教会に来られた方は、主会堂もしくは教会オフィスの隣のドアからお入りください。

—教会のボイスメールに問題があり、現在、それぞれの牧師の内線にメッセージを残せないで、御用の方は、主教会のボイスメールに英語でご用件をお残してください。教会のセクレタリーからメッセージを受け次第、こちらからご連絡いたします。お手数をおかけしますが、システムが修復されるまで、ご協力をお願いいたします。

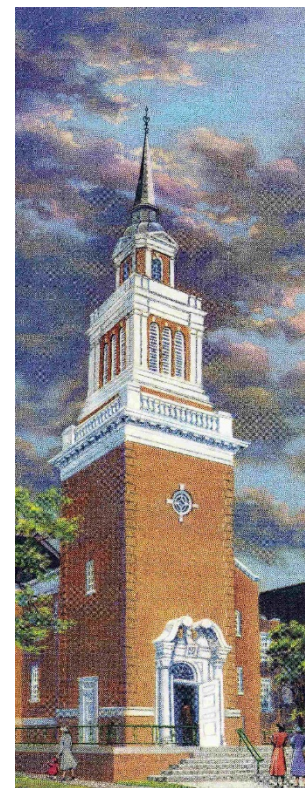
今週の讚美：What Child Is This

<https://www.youtube.com/watch?v=bJk00ukFPjc>

発行：2018年12月26日ノースショアバプテスト教会日本語部

スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

電話：773-728-4200 EX. 26



週報

第3702号

2018年 12月30日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org